

第 36 回市民総合スポーツ大会

第 38 回 福岡市女子剣道交流大会

と き 令和 4 年 4 月 1 7 日 (日)
午前 9 時 0 0 分 開会式

ところ 福岡市総合体育館 (福岡市東区香椎照葉)

主 催 福 岡 市
(公益財団法人) 福岡市スポーツ協会
主 管 市民総合スポーツ大会実行委員会
福 岡 市 剣 道 連 盟
後 援 (公益財団法人) 福岡県剣道連盟

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとうとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
財団法人全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
財団法人全日本剣道連盟

大会式次第

開会式

1. 開会のことば
2. 国歌斉唱
3. 会長あいさつ
4. 試合上の注意
5. 選手宣誓
6. 運営上の諸注意
7. 試合

閉会式

1. 閉会のことば

大 会 役 員

大会名誉会長	福岡市長	高島宗一郎
大会会長	福岡市剣道連盟会長	牧瀬憲保
大会副会長	福岡市東区剣道連盟会長	石橋正久
	福岡市西区剣道連盟会長	富永計久
	福岡市早良区剣道連盟会長	高野國雄
	福岡市城南区剣道連盟会長	大和竹史
	福岡市南区剣道連盟会長	井上和義
	福岡市中央区剣道連盟会長	佐々木健一
	福岡市博多区剣道連盟会長	鬼塚敏満
大会名誉顧問	(公益財団法人)福岡市スポーツ協会会長	西村松次
大会顧問	(公益社団法人)福岡県剣道連盟会長	青柳俊彦
	福岡連合地区剣道連盟会長	原博生
	剣道範士	宮川英俊
	(公益財団法人)福岡市スポーツ協会専務理事	原田清子

大 会 委 員

大会委員長	福岡市剣道連盟理事長	國友秀三
大会委員	森田茂村田昇平林嘉一	
	親川光紀宇留嶋茂蓮尾孝幸	
	田中健一	
総務委員長	湯口博史	
総務委員	村方章河原亮輔福永秀樹	
	小林長充青木幸孝八重岡武士	
	石井豊勝	
本部委員	谷口浩司	
進行係	八重岡武士	
記録係	石井豊勝	
表彰係	田中寛	
接待係	勝又貴子安藤眞希坂口ゆかり	

(順不同)

審 判 員

審判長 教士七段 高井田 誠

	【1 試合場】	【2 試合場】	【3 試合場】	【4 試合場】
審判主任	吉岡英司	森山和博	牧正文	小林真二
審判員1	梅津裕一郎	濱地信彦	広瀬正彦	神田真奈美
審判員2	中村圭一	末松稔	鶴田彰	宮園幹夫
審判員3	堀内清隆	益永卓	河村晃佑	渡辺謙尚
審判員4	在津吾朗	酒井謙二	櫛野周史	入江圭正
審判員5	友安馨	川内義文	三宅智子	山崎英俊

	【5 試合場】	【6 試合場】	【7 試合場】
審判主任	上田啓二郎	小長光孝	久保田哲玄
審判員1	中原良隆	白武端人	島井貴浩
審判員2	山内正太郎	石郷健太郎	徳永隆浩
審判員3	下村拓史	松田一郎	元木朱実
審判員4	岩橋宏平	山下忠泰	有吉千穂
審判員5	菊川理恵	田口裕季子	橘蘭和誠

係 員

【1 試合場】	【2 試合場】	【3 試合場】	【4 試合場】
【東区】	【城南区】	【南区】	【博多区】
黒木千絵	村山英紀	山本佳代子	佐々木郁美
大津孝	吉田博則	蛭原充保子	沖田美保
市丸実由紀	富永真由美	宮崎美千代	工藤愛美
坂下百合香	中山祐一	光来出裕美	金子由賀
五十嵐尚美	福島完治	吉良慎太郎	大城まいこ

【5 試合場】	【6 試合場】	【7 試合場】
【西区】	【早良区】	【中央区】
鎌田理愛	上原亮祐	中央区
東司和子	三木希菜	中央区
高橋友香	小島直之	中央区
小田愛子	山村美保	中央区
塚本幹博	古相純子	中央区

2022年度 第36回市民総合スポーツ大会
第38回福岡市女子剣道交流大会 実施要項
(兼 令和4年度 全国健康福祉祭 剣道交流大会 予選会)

1. 趣 旨 女子剣道の交流を目的とし、地域各団体の今後の活動を活発にすると共に、女子剣士相互の友情を深め女子剣道の普及発展に寄与することを旨とする。
2. 主 催 福岡市・(公財)福岡市スポーツ協会
3. 主 管 市民総合スポーツ大会実行委員会・福岡市市民局スポーツ推進部スポーツ事業課・福岡市剣道連盟
4. 後 援 福岡県剣道連盟・西日本新聞社・テレビ西日本 他
5. 期 日 令和4年4月17日(日)
6. 会 場 福岡市総合体育館(福岡市東区香椎照葉 TEL092-410-0314)
7. 参 加 資 格 福岡市内の各道場、公民館、クラブ活動及び学校を単位とした責任ある団体に所属する「女子選手」を対象とします。大会出場の年齢は、学生については令和4年4月1日現在の新学年を基準とします。
8. 競 技 種 目 『個人戦』(6部門)
①小学生1～2年の部 ②小学生3～4年の部 ③小学生5～6年の部
④中学生1年の部 ⑤中学生2～3年の部 ⑥高校生の部
『団体戦』(1部門)
①男子60歳以上の部(令和4年度 ねんりんピック予選会)
9. チーム編成他 ①男子60歳以上の部 1チーム選手5名。
60歳以上の部は、①監督1名、選手5名(この内70歳以上1名以上、65歳以上1名以上)、交代選手2名以内の合計8名以内。監督は選手を兼任できますが、その際は選手としても登録して下さい。
②チームの選手は7段以下とし、交代を行っても、競技する5名のうち65歳以上が1名以上、70歳以上が1名以上含まれるものとします。
③選手のオーダー編成は、年齢の若い順とします。
④交代選手の起用については認めますが、交代した選手は再度出場することができません。この場合においても③に従いオーダー編成を行って下さい。
⑤支部全体での編成を認めます。
10. そ の 他 (1)参加申し込みの際、学校と所属団体・教室との重複エントリーにご注意願います。
(2)所属団体名と姓を明記した「名札」を付け、紅白の目印は各自持参して下さい。
(3)大会中の事故については、応急処置は主催側で行いますが、その後の治療等については各団体または個人で処置して下さい。なお、傷害保険等は各団体で加入して下さい。
(4)駐車場は施設駐車場をご利用下さい。(1台500円)
(5)指導者、引率者様へのお願い
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止策の一環として、保護者の入館(観客席)は、選手1名につき1名までとさせていただきます。
 - 会場観客席は必ず1席の間隔を開けて御着席・応援をお願いいたします。
 - 選手に限らず、体育館にご入場の際は、必ずマスクをご着用ください。
 - その他、受付期間終了後に、申込者を集計し新型コロナウイルス感染防止対策を実施します。当日は本部の対策に何卒ご協力をお願い致します。
 - 近年の大会で、会場内外でお子様による怪我や、公共物の破損等が多発しております。お子様(選手・選手以外)が会場内で事故や、器物破損などを起こさないように十分にご注意、ご指導をよろしくお願い申し上げます。また、万が一お怪我をされた場合は、一切責任を負えません。また、器物破損につきましては、修理をして頂きます。予めご了承ください。

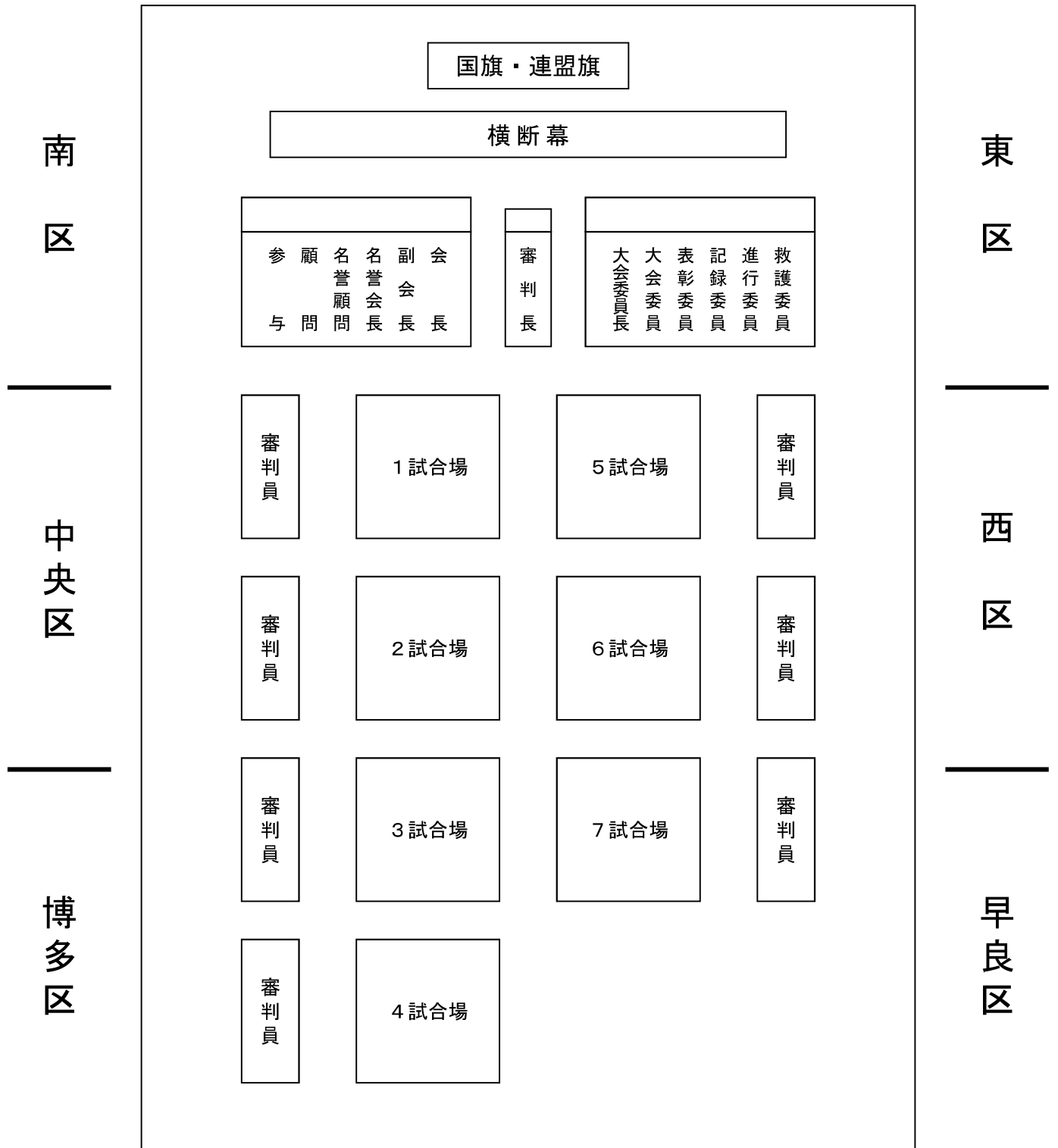
試 合 順 序

	1 巡目	2 巡目	3 巡目	4 巡目
1 試合場	60 歳以上男性団体戦 Aグループ	小学生 1～2年生の部 Bグループ	中学生 2～3年生の部 Aグループ	中学生 2～3年生の部 Hグループ
2 試合場	小学生 3～4年生の部 Aグループ	小学生 5～6年生の部 Aグループ	中学生 2～3年生の部 Bグループ	高校生の部 Aグループ
3 試合場	小学生 3～4年生の部 Bグループ	小学生 5～6年生の部 Bグループ	中学生 2～3年生の部 Cグループ	高校生の部 Bグループ
4 試合場	小学生 3～4年生の部 Cグループ	小学生 5～6年生の部 Cグループ	中学生 2～3年生の部 Dグループ	高校生の部 Cグループ
5 試合場	60 歳以上男性団体戦 Bグループ	小学生 1～2年生の部 Aグループ	中学生 2～3年生の部 Eグループ	高校生の部 Dグループ
6 試合場	小学生 3～4年生の部 Dグループ	小学生 5～6年生の部 Dグループ	中学生 2～3年生の部 Fグループ	
7 試合場	中学生 1年生の部 Aグループ	中学生 1年生の部 Bグループ	中学生 2～3年生の部 Gグループ	

○試合順序は進行状況により変わることがあります。ご注意ください。

○決勝戦および決勝トーナメントの実施は、試合場の準備が出来次第、順次案内しますので、本部の指示にしたがってください。

大会会場案内図



南区

東区

中央区

西区

博多区

早良区

(観客席)

城南区

創志

心印からきれば創又心印す

創志業人し創すは

先ず心より学ん

云保格白卷

島田虎之助